

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野 基礎看護学	科目名	診療の補助技術Ⅱ (与薬・注射)
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 秋元 未来 (28 時間)		
講師の実務経験	助産師として他病院に 8 年 5 ヶ月、星総合病院に 5 年 5 ヶ月		
学習目標	診療に伴う基本的な知識と援助技術を学ぶ		
成績評価方法	筆記試験、技術試験、講義の受講態度、提出物も評価に含みます。		
使用テキスト	基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 看護がみえる vol.2 臨床看護技術		
参考文献	注射の基本がよくわかる本 照林社 臨床に生かしたいくすりの話 学研		
履修上の留意	学生便覧「履修心得」の通り 真摯な態度で講義・演習に臨むこと。提出物の期限を厳守すること。		
講師からの メッセージ	与薬、採血、注射は、臨床において実施頻度の高い看護技術です。既習した解剖生理学・薬理学・無菌操作などを駆使し、演習を通して安全な援助技術を身に付けてください。技術試験もありますので、しっかり練習をしましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	方法	備考
1 2	4	与薬の基礎知識 安全な与薬の技術	1) 薬物の基本的性質 2) 看護師の役割 ・正しい与薬方法 ・薬の管理 3) 主な与薬の種類と特徴、援助方法 ・経口投与、口腔内投与、吸入、 点眼、点鼻、経皮的投与、直腸内投与	講義 演習	白衣
3 4	4	注射・採血の基礎知識	1) 解剖と生理 2) 注射・採血に使用する器具の種類と特徴 3) 注射・採血時に起こりやすい事故と防止方法、事故発生後の対処方法 4) 感染予防、医療廃棄物の取り扱い	講義 演習	白衣

回	時間	主題	授業内容	方法	備考
		薬剤確認 注射の基本的な手 技	1) 薬剤の種類と名称 2) 8Rの意義と方法 1) アンプルカットと薬液吸引		
5 6	4	安全な注射の技術 ・皮内注射 ・皮下注射	1) 皮内注射とは ・注射後の観察点 2) 皮下注射とは 3) 皮下注射の方法と実際 ・スキンモデルを用いた皮下注射の実施 ・注射後の観察点	講義 演習	白衣
7	2	安全な注射の技術 ・筋肉注射	1) 筋肉注射とは 2) 筋肉注射の方法と実際 ・スキンモデルを用いた筋肉注射の実施 ・注射後の観察点	講義 演習	白衣
8 9	4	安全な注射の技術 ・静脈内注射	1) 静脈内注射とは ・薬理作用と静脈内注射の危険性 2) 静脈内注射の方法と実際 ・血管モデルを用いた静脈内注射の実施 ・注射後の観察点	講義 演習	白衣
10 11	4	静脈血採血	1) 静脈血採血とは 2) 静脈血採血の方法 ・採血部位の選択、駆血、消毒、穿刺、 止血、検体の取り扱い等 3) 血管モデルを用いた採血の実施 4) 医療廃棄物の取り扱いの実施	講義 演習	白衣
12 13	4	安全な注射の技術 ・点滴静脈内注射	1) 輸液ライン・閉鎖式輸液ラインについ て 2) 点滴静脈内注射とは 3) 点滴静脈内注射の方法と実際 ・血管モデルを用いた点滴静脈内注射の 実施 ・注射後の観察点	講義 演習	白衣
14	2	静脈内注射技術 試験	静脈内注射技術試験	試験	白衣
15	2	評価	筆記試験		

※14回目は研修枠1コマが加わる